

# アート活動と創造性

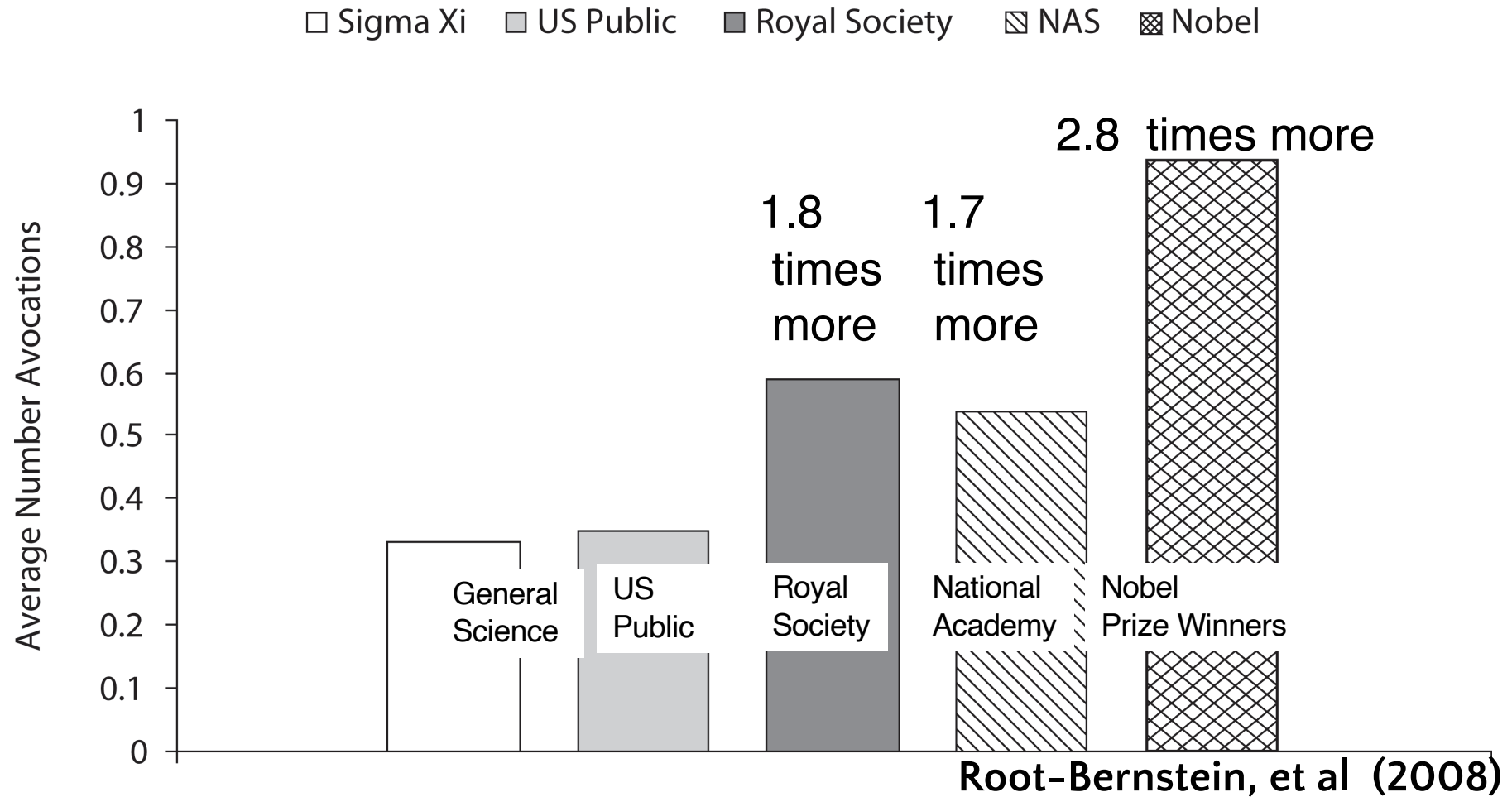
岡 田 猛

(東京大学 大学院教育学研究科)

# アート思考ブーム



# アートやクラフトの趣味を持つ科学者の割合

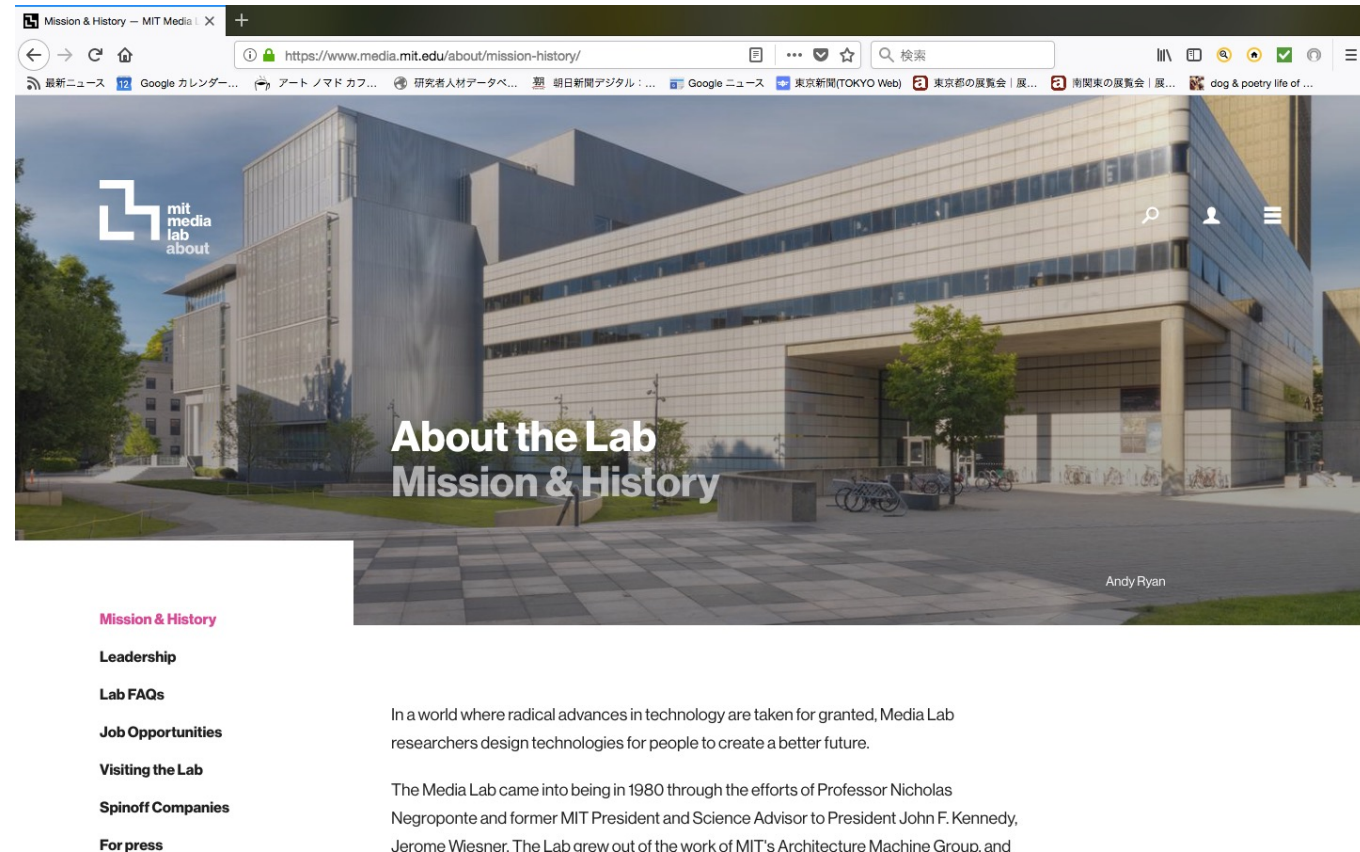


一般的な科学者と比較すると、エリート科学者はアートやクラフトといった趣味を持っている可能性が高い

# 芸術とテクノロジーの連携

芸術は学問の垣根を取り払い、新しい発見をもたらす

[例]  
MIT  
メディア・ラボ

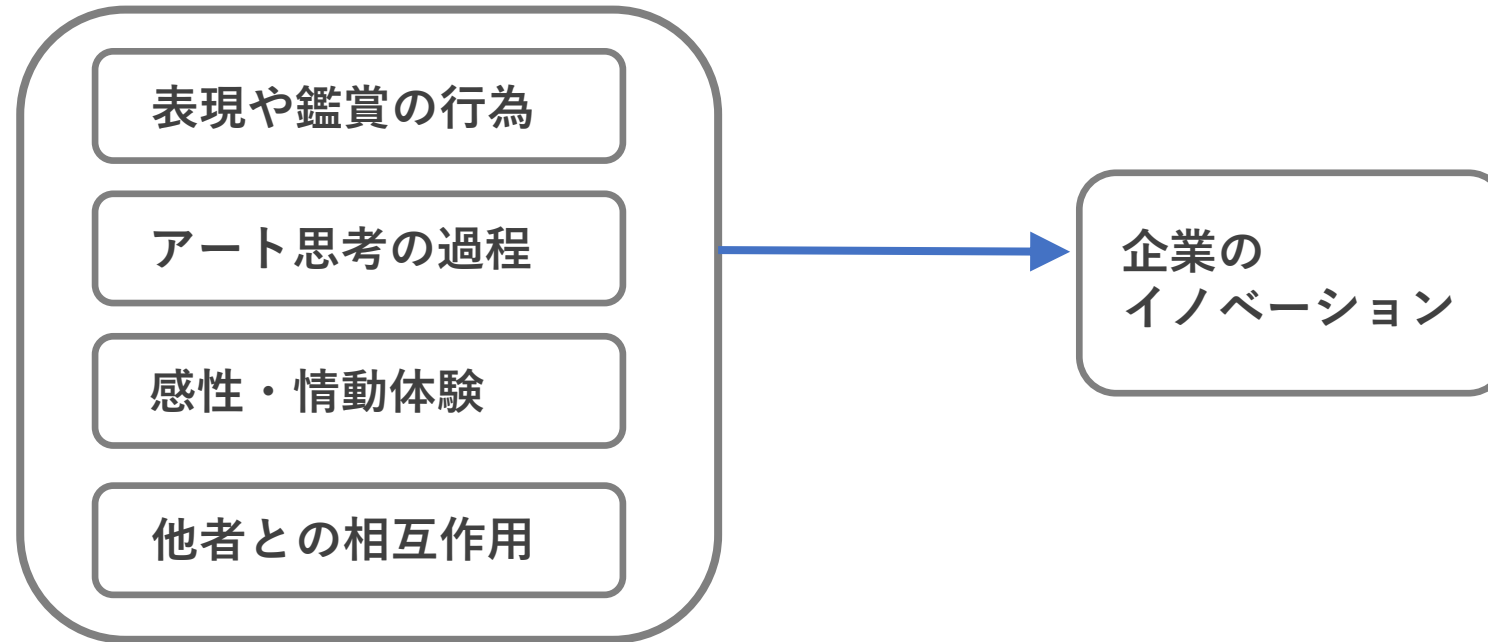


# アートは、創造性を高めるか？



# アートは、創造性を高めるか？

## アート活動



# 企業向けのアート・ワークショップ・プログラム

Shimizu, Yomogida, Wang, & Okada, 2021

- ある企業の開発部門の研究者を対象

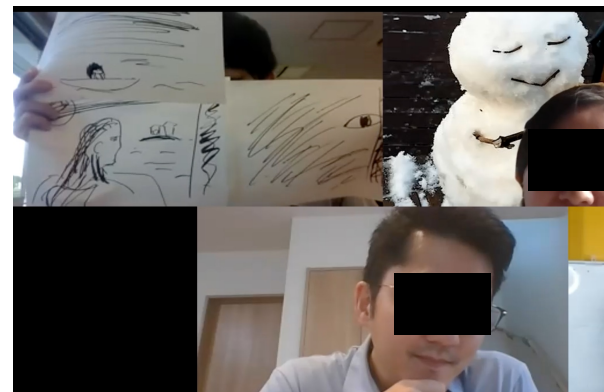
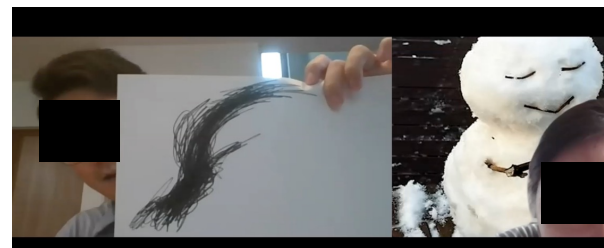
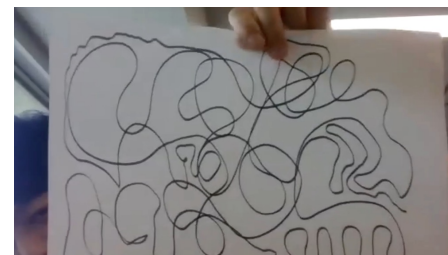
日時	ワークショップ		①物—身体	②触発	③内発的動機づけ
5/12	鑑賞と対話	佐藤悠（鑑賞プログラマー）		○	○
6/8	みるを考える	古藤陽（横浜美術館学芸員）	○		○
6/16	ビジョンのWS	佐宗邦威（株式会社BIOTOPE代表）	○	○	○
6/23	Co-creation of Music	Michael Spencer（日本フィルハーモニー）	○	○	○
9/3	Creativity and Story 1	Steven Fischer（Film director）	○		○
9/17	鑑賞—創作—対話	佐藤悠（鑑賞プログラマー）	○	○	○
11/17	五感とイメージ	篠原猛史（現代芸術家）	○		○
12/18	Creativity and Story 2	Steven Fischer（Film director）	○		○



# 絵画鑑賞のワークショップ（2020年9月17日実施）

「物や身体との関わり」や「触発」に着目したワークショップ

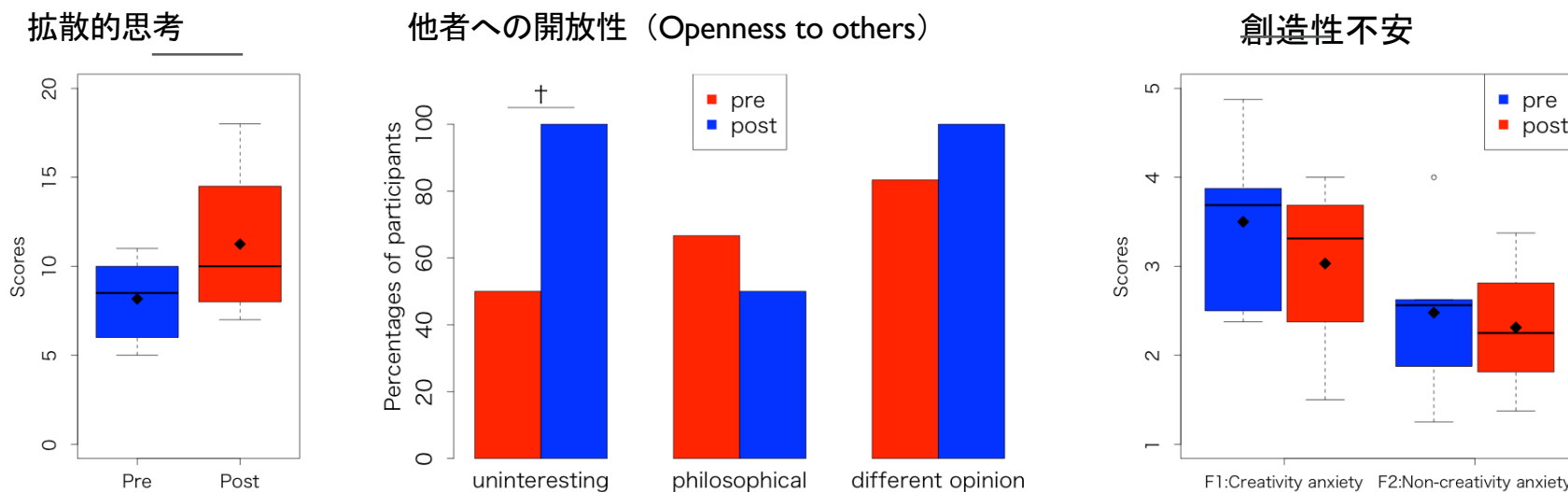
ワーク	ワークの仔細	時間
①ウォームアップ	やめやめ、よしよし	5分
②鑑賞する	黙って見る	2分
③スケッチする	気になった部分を見ずにスケッチする	5分×3
④言葉にする	話し手・聞き手に分かれ聞き手が気になる部分を質問する	8分×2
⑤想像を広げる	画面内に描かれているもの以外を想像して描く	15分
⑥想像を編集する	描いた絵を並べ、それを見せる順・内容を決める	20分
⑦発表する	4人1組で描いた絵を見せる。作者以外が作品についての意見を述べる	30分



意図しない身体の動きや他者の視点が、想像を拡張した



# 絵画鑑賞のWS参加による創造性関連指標の変化



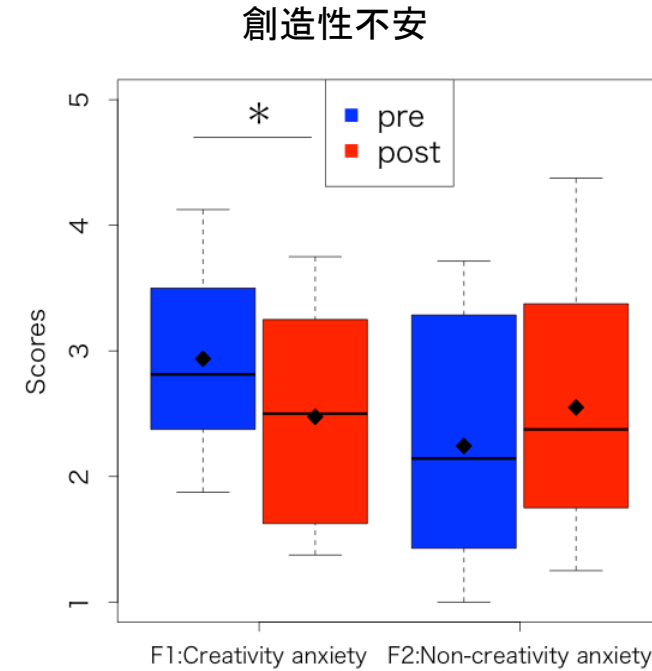
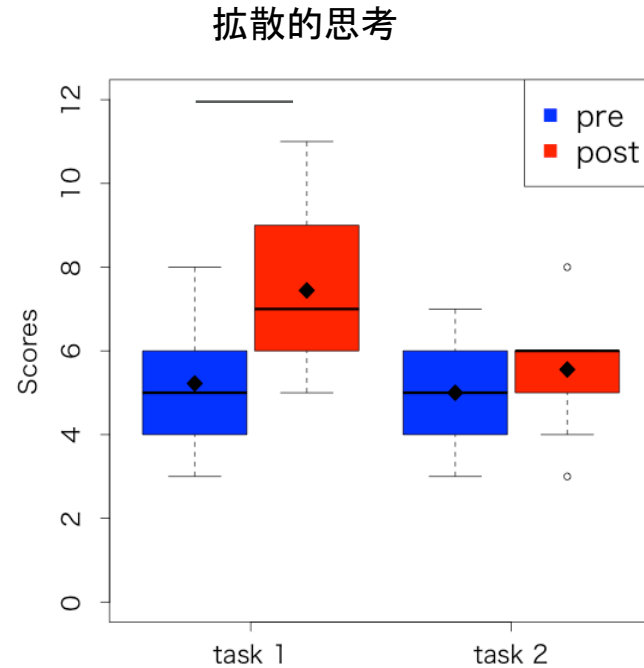
## 上昇

- ・ 拡散的思考（日常のものを多様な観点から捉える）
- ・ 他者への開放性（多様な他者と話そうとする傾向）

## 減少

- ・ 創造性不安（先の見えない創造活動に取り組むことへの不安）

# 8ヶ月間のアートプログラム参加による創造性指標の変化



上昇

- ・ 拡散的思考（日常のものを多様な観点から捉える）

減少

- ・ 創造性不安（先の見えない創造活動に取り組むことへの不安）

## ここまでのまとめと今後の課題

- アート活動は、企業の研究開発者の拡散的思考能力を高め、創造性不安を低減させた。
- ただし、それが企業のイノベーション（特許の獲得数の上昇等）にすぐに繋がるかどうかは、まだ未知数。
- それは、時間がかかるプロセス。

教育活動に目を向けると、

## 芸術実技の授業の重要性

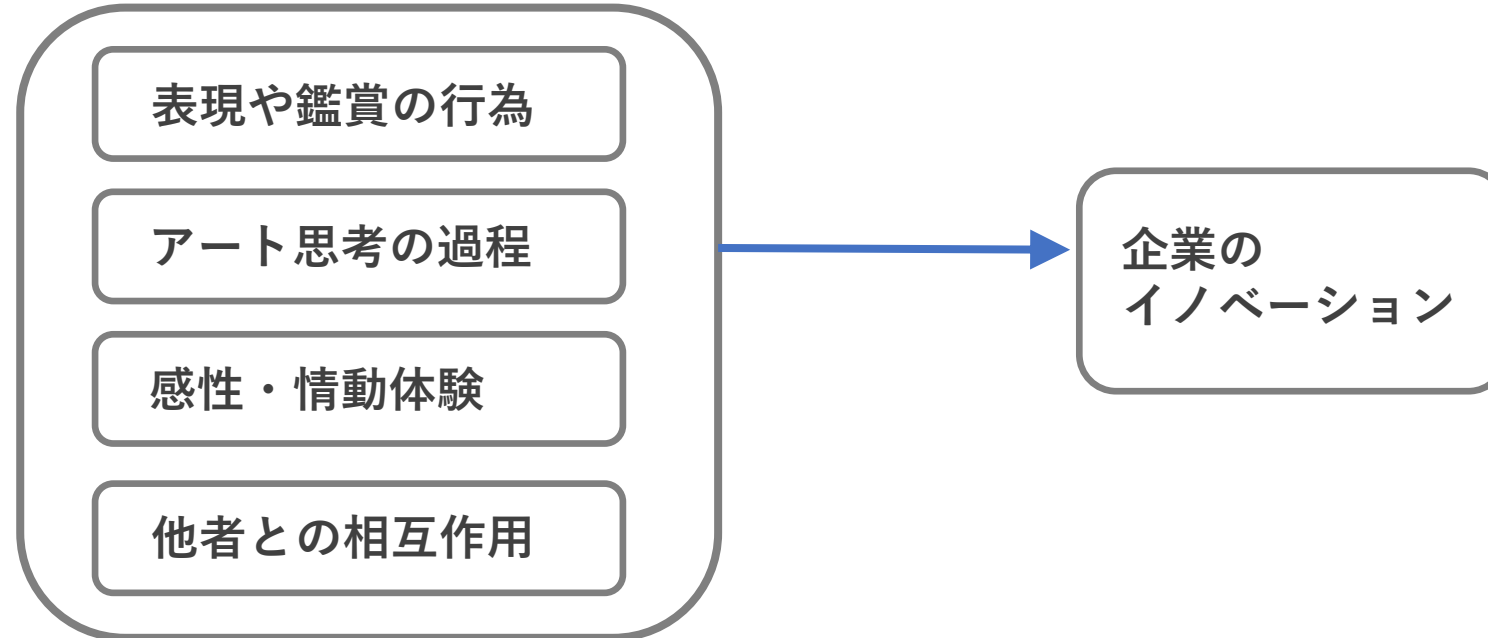
### 海外の大学の事情

- 世界の大学は芸術学部を持ち、一般学生のためにも授業を開講。
  - スタンフォード大学、オックスフォード大学、ハーバード大学、コロンビア大学、などでは、芸術学系の学部が充実
- 多様な価値観の理解、創造的な思考力、歴史をとらえる力などの向上



# アートは、創造性を高めるか？

## アート活動



## 創造的知識や態度



# 創造的教養 (creative fluency)

- 縣・岡田 (2009 ; 2013)

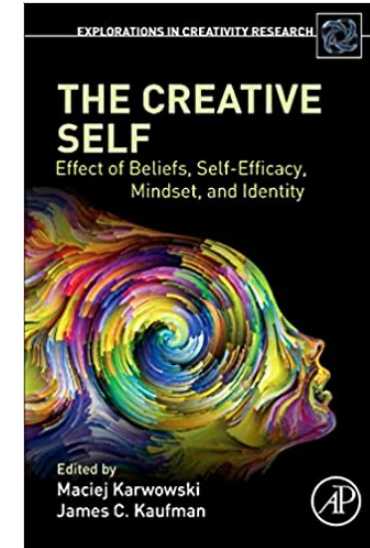
- 1) 創造活動の過程や方法についての体験的理解
- 2) 創造活動と親しむ態度や習慣

⇒ これらを共に備えた人を, 「創造的教養」人  
と呼ぶ

# Creative self (創造的自己)

## 自分自身の創造性や 創造性一般についての信念

- Creative self-efficacy
  - 創造的自己効力感
- Creative meta-cognition
  - 創造的メタ認知
- Creative self-concept
  - 創造的自己概念
- Creative self identity
  - 創造的自己アイデンティティ

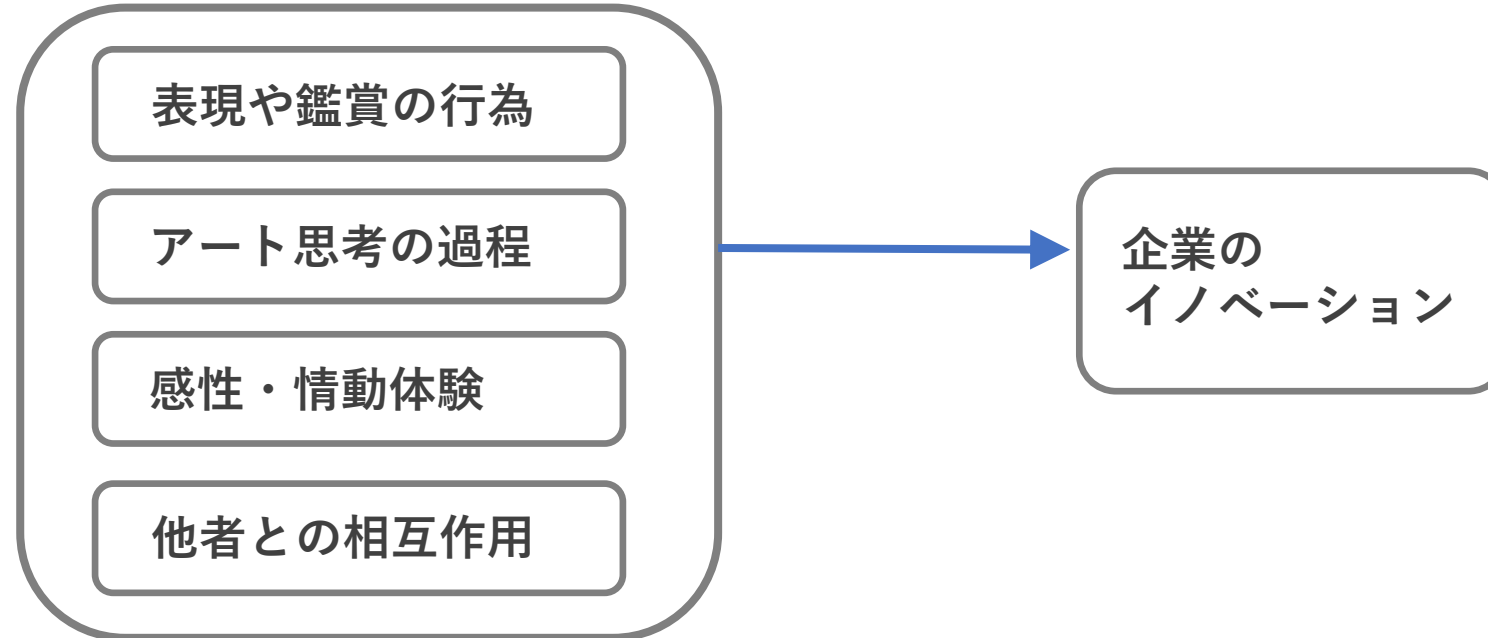


Karwowski, M., & Kaufman, J. C. (Eds.). (2017). *The creative self: Effect of beliefs, self-efficacy, mindset, and identity*. San Diego, CA: Academic Press.



# アートは、創造性を高めるか？

## アート活動

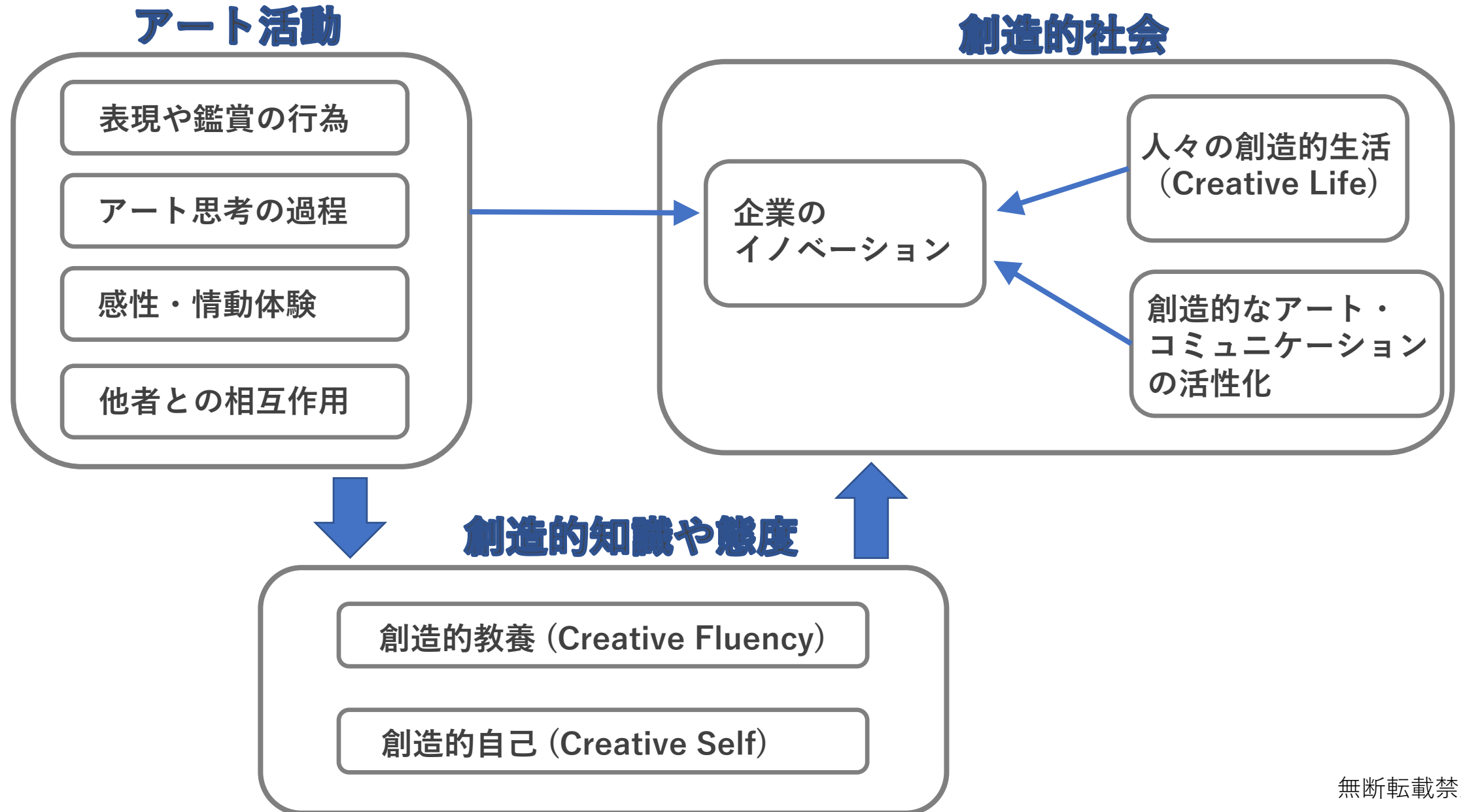


## 創造的知識や態度



現在、実証研究  
を実施中

# アートは、創造性を高めるか？



# 創造的で豊かな社会とは？

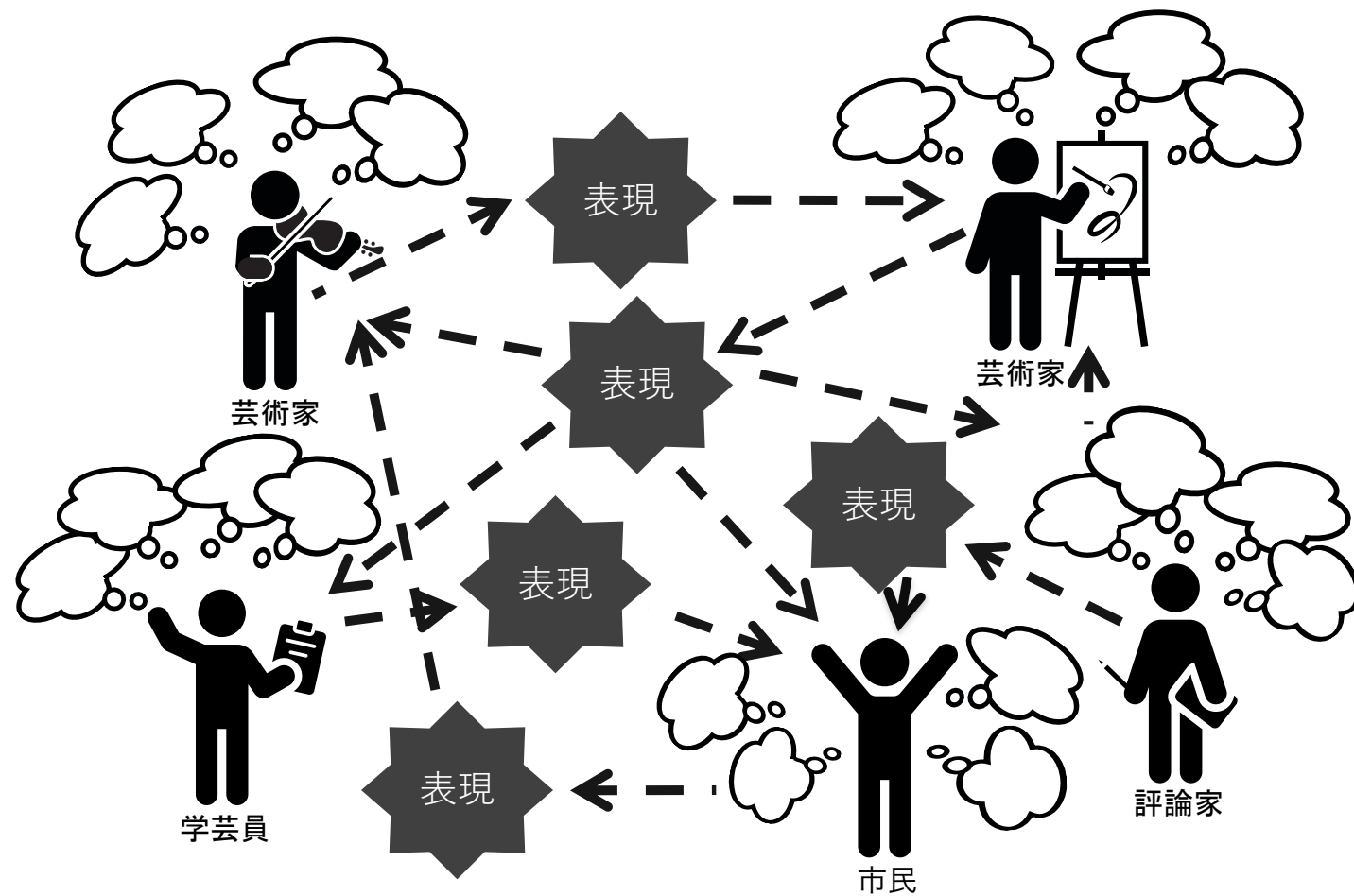
## ■創造的熟達者が活発に創造活動を行っている

- 社会の中に、何十年も熱中して創造活動を行う熟達者が存在することによって、我々人類は、まだ誰も見たことのない世界を見ることが可能になる。

## ■創造的教養人がたくさん存在し、創造活動や鑑賞活動を楽しんでいる

- 個人の生活の質（QOL）が高まり、創造的熟達者を支援し、子ども達の創造活動を育む文化的土壌が形成される。

# 触発するアート・コミュニケーション



# 東京大学 芸術創造連携研究機構 (東大アートセンター)

「アートで知性を拡張し，社会の未来をひらく」



# 東京大学 芸術創造連携研究機構



# 東京大学 芸術創造連携研究機構

## 事業構成

### 芸術実技の授業

アーティストによる芸術実技の授業を開講し、文理を超えた身体知による価値創造を実践的に教える

### アーティスト・イン・レジデンス

国内外のアーティストが滞在して創作活動を行い、本学の学術資源を可視化して世界に発信する

### クリエイティヴ・アーカイヴ

芸術資源を収集・保存すると同時に公開・活用し、研究と創作を横断する価値創造を実現する

### 共同研究

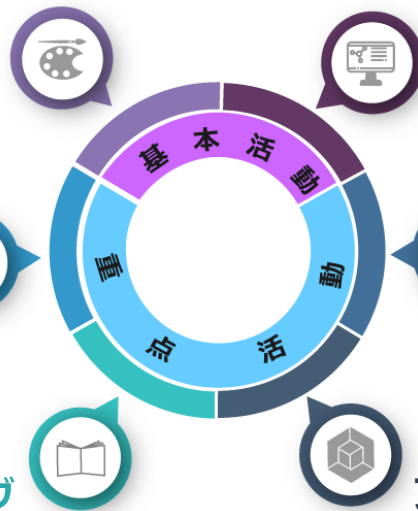
研究者・アーティスト等による共同研究を行い、異分野間の対話と連携を通して、新たな価値創造を実現する

### 社会連携

研究成果を社会へ還元すると同時に、社会との連携を通して新たな価値の共創を推進する

### アート・ラボ

学生・教員による創作活動を技術的に支援し、芸術創造に関する共同教育研究の拠点形成する



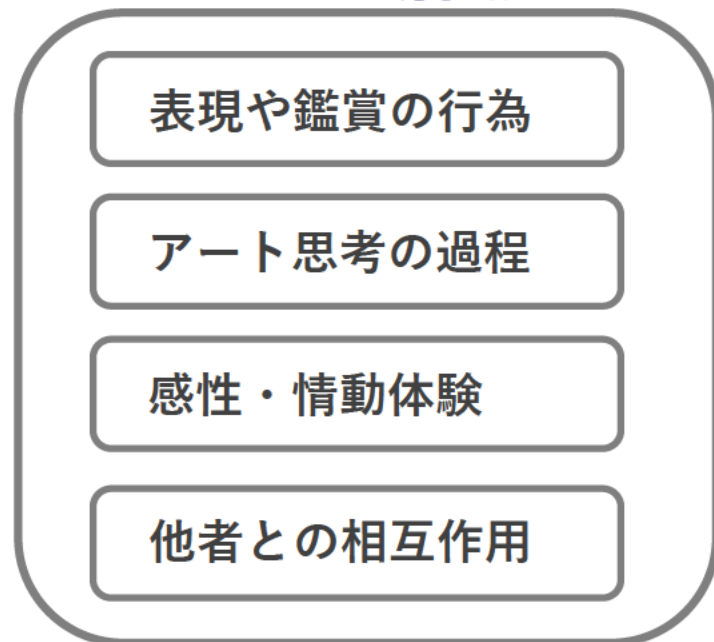


# 芸術を専攻しない学生のための芸術実技関連科目

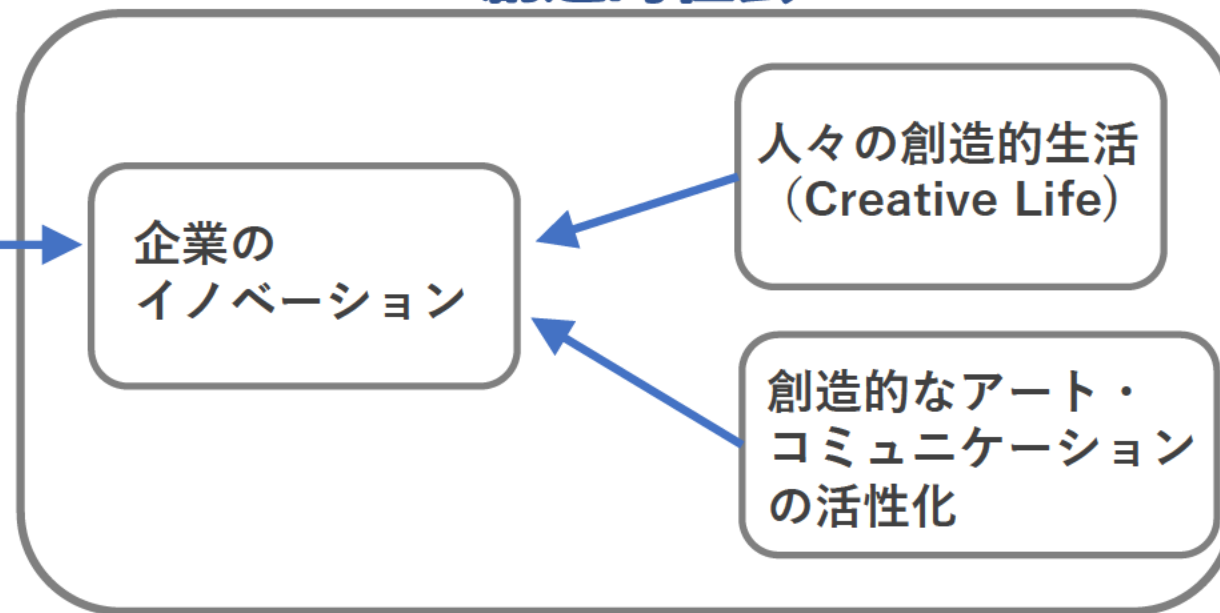
- 駒場キャンパス（1，2年生用科目中心）
- 本郷キャンパス（3，4年生用科目）
- 2021年度は，30科目の開講

# アートは、創造性を高めるか？

## アート活動



## 創造的社会



## 創造的知識や態度



**YES !**

ただし、長い時間  
スパンでの多様な  
レベルの働きかけ  
が必要！